

潮平中学校 第 3 回学校運営協議会 報告書

1 開催日時 令和 8 年 9 月 10 日(木) 18:00～19:30

2 場 所 本校 校長室

3 参 加 者

①佐藤良雄 ②嵩原友子 ③長嶺明 ④瀬利宗司 ⑤金城拓也 ⑤照屋真也

⑦金城 操 ⑧上原 勝 ⑨山内竜二

【学校職員】 ⑩伊敷尚也 ⑪末吉康司 ⑫玉城 久、⑬金城 尚

※委員 15 名中 13 名参加

欠席者 2 名（当間 明、當銘信太）

4 会議内容

(1) 潮中サポート会活動費 38 万円について(潮中サポート会会計兼務の嵩原さん)

◇潮中サポート会活動費などの予算や執行について、潮中サポート会の理事は全員学校運営協議会委員を兼ねているので、今後この場で決めていきたい。

→承認。

① 駅伝取り組みへの差し入れ、職員弁当等→承認

② 防犯グッズ購入（唐辛子スプレー等）→承認

③ 修学旅行について、生徒の安全確保のため、これまで県規定の引率教員以外の教員を毎年 1 名（例外時 2 名）増員するため、旧潮中 PTA から旅費を補填している。今年も同様でよいか→承認

※ 各協議委員で、講演会企画や活動費の活用案を考えて提案をお願いしたい。

※ 生徒への差し入れ時には「潮中サポート会」の代表が生徒へ直接渡すなどアピールを行ってほしい。→毎年嵩原さんが行っている。

(2) 1 学期を振り返って 校長

① 大きな事件・事故がなかった。

② 生徒・職員の動きを観察し、要望の把握に努めている。
保護者からの意見も募っていきたい。

③ 学校評価も参考にしてほしい。

(3) 糸満市個別最適化事業について（教頭、校長）

① 糸満市の現状や課題を踏まえ、糸満市の明るい未来を拓く生徒を育成するために、昨年度から市全体で取り組んでいる研修内容を紹介し、「楽しい学校づくり」に向けて、市内各校で取り組んでいる。

② 本校の学力調査状況や不登校の現状を報告。

③ 市内研修後の成果

・生徒対応を意識し、不登校生の登校復帰につながっている。

- ・保健室利用の減少。小中連携の促進。
- ・現在、新規の不登校はいない。
- ・いじめ認知については積極的に行い、丁寧に対応・見守りを行っている。

(4) 学力調査について（教頭）

- ① 中3は1年の頃から学力は高い。国語・英語は県平均を上回り、市内では1位。数学は市内4位で、2年の頃よりポイントを下げている
- ② 中1は、県平均を若干、下回っているが小学校時より県との差を縮め、市平均を上回った。
- ③ 中2は、1年の頃と同様に、県との差は依然として大きい、市平均と同数になり、若干ポイントを上げた。

(5) 学校評価について（教頭）

- ① 教員・生徒・保護者ともに学校の取組に対する評価は、概ね高い。
- ② 教職員の働き方や、地域との連携、スマホ使用における家庭の取組に課題が見られる。
- ③ 学校評価の結果を各学年で分析し、改善に向けた取組を行っている。
- ④ 校長の掲げる「学校運営協議会と連携した地域との取り組み」を増やしていきたい。
- ⑥ 質疑応答・情報交換
 - ・市内研の取組を、保護者・地域にも共有してはどうか。講師も保護者・地域向けに講演ができたらいいのではないかな。
 - ・目指す生徒像のキーワードや取組は、生徒の自分たちの学校と思えるのではないかなと思う。主体性を育成していくことで社会に出ていくための資質能力になっていくと感じた。

(6) 熟議「地域との連携について」（校長）

- ① 地域と連携して、生徒が楽しいと思える環境づくりをしていきたい。
- ② 講演会等の企画をしたい。
- ③ 兼城中では、下記の意見があった。参考までに紹介がある。
自治会のイベントに中学生の参加を促してほしいと意見があった。教育に熱心な家庭ほど部活動中心になる傾向が見られ、参加が減るので中学校側からも参加や協力を発信・アプローチできないか。
また学校運営協議会の運営について自分ができる・空いている時間で（週1回など）草刈りやプールの監視員、図書館の棚修繕を今年の3月から実施している。まずは、やってみて広げていこうという取組をはじめている。
- ④ 「家庭の日」を活用し、「地域の日」として活動できないか。
- ⑤ 小学生と中学生の共同企画も面白い。
- ⑥ 大里南小では、夏には防災キャンプを実施した（1泊2日）。授業参観では、PTAによる校内カフェを開いて、地域の人とPTAと関われる機会をつくっている。学校マスコットキャラクターもおいている。

- ⑦ 学校からの発信が重要になってくる。気軽に来校できる機会づくり、特に
お母さんが来られるような雰囲気づくりが大事だと思う。
- ⑧ 発信してもすぐには集まるのは難しい。小さな積み重ね。機会をつくるた
めの前段階で、地域の人を集めて、何をどうするかの説明をするなどの入
口づくりをしていこう。
- ⑨ 校長室開放の提案もあるが、校長室はハードルが高い。生徒も活用したり、
学校のSNSの発信は影響力大きいと思う。
- ⑩ 学校HPだけでなく、マチコミメールでも情報発信をしていく。
- ⑪ 自治会のお知らせがあれば、マチコミメールで発信する。
- ⑫ 生徒によるSNSなどを使った発信方法も検討してみしてほしい。

(7) その他（次回開催日時の確認）

10月16日（金）合唱コンクール

昨年度のように、コンクール前に熟議→給食→鑑賞・解散

